

## 令和3年度 年間授業計画

東京都立科学技術高等学校

教科	科学技術	科目	SS課題研究・1分野	学年	2学年	単位	3
使用教科書	なし		使用教材	プリント等			
授業担当者							
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで協働しながら研究計画の立案と見直し、実験器具の製作、実験、試行錯誤を繰り返し、一定の研究成果を上げる。</li> <li>・研究成果を適切に報告書やプレゼンテーションソフトでまとめ、発表する。</li> </ul>						
学期	単元・指導内容(章・節・項)	予定時数	具体的な指導目標	評価の観点・方法			
1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレインストーミングや基礎実験、事前調査を行い、幅広い視野から研究テーマを設定する。</li> <li>・先行研究や先行実践例のレビューをもとに、具体的な研究計画を立案し、発表する。</li> </ul>	42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ協議で意見を出すこと、他人の意見を理解すること、グループの意見を見解としてまとめあげることに慣れる。</li> <li>・研究計画立案や実際の研究の進め方の注意点を理解させる。</li> <li>・最終的な研究成果や到達点を明確にさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各時間の学習活動において気付いたことや学んだことに関する生徒の記述。記述量とその質を評価する。</li> <li>・研究計画書及び研究計画発表会。作業の段取りや必要な時間、想定される課題など、計画の具体性を評価する。</li> </ul>			
2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの研究計画に基づき、研究作業を行う。</li> <li>・実験機材を作成し、実験データを集める。</li> </ul>	42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究計画を強く意識させる。実際に作業をしてみて研究計画の不備が判明した場合は、適宜修正し、常に先の見通しをもちながら作業を行う。</li> <li>・班員全員が役割をもち、連携しながら作業を進められるようにする。</li> <li>・安全に留意しながら工作機械を使用させ、自分たちで機材を製作させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各時間の学習活動において気付いたことや学んだことに関する生徒の記述。記述量とその質を評価する。</li> <li>・研究計画及び研究内容に関する口頭試問。基礎知識や研究の具体的な内容を問い、研究に対する主体性を含めて評価する。</li> </ul>			
3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの研究計画に基づき、研究作業を行う。</li> <li>・実験機材を作成し、実験データを集める。</li> <li>・研究成果を中間報告書にまとめる。</li> <li>・中間発表会で研究成果を発表する。</li> </ul>	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究計画を強く意識させる。実際に作業をしてみて研究計画の不備が判明した場合は、適宜修正し、常に先の見通しをもちながら作業を行う。</li> <li>・班員全員が役割をもち、連携しながら作業を進められるようにする。</li> <li>・2年次の反省をふまえ、3年次の作業の進め方も含めて中間報告及び発表をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各時間の学習活動において気付いたことや学んだことに関する生徒の記述。記述量とその質を評価する。</li> <li>・研究報告書と中間発表の様子。研究成果そのもの、報告書の内容、発表のやり方などを評価する。</li> </ul>			